ハビタット福岡市民の会　ニュースレター　　発行 ２００７年4月１９日

Citizens Net for UN Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

２０号の主な内容
- ■市民の会総会と交流会を開催
- ■新役員からのメッセージ
- ■県民シンポジウムが開催される
- ■職員紹介
- ■モンゴルのハビタット事務所訪問

第20号
http://cnhf.npgo.jp

■市民の会総会と交流会を開催

３月８日（木）１８:３０より、アクロス福岡 B2F のグランチャイナにて､ハビタット福岡市民の会の２００７年度総会を開きました。総会に引き続き、国連ハビタット福岡事務所との交流会を実施しました。

事務所からは、多忙にもかかわらず、野田所長とバラット・ダヒヤさん（インド出身：人間居住アドバイザー）に参加いただきました。

総会では、議案として２００６年度の事業報告、会計報告および２００７年度の計画、２００７年度の新役員体制が上程され、承認されました。

続いて行われた交流会では、中華料理のバイキングを楽しみながら、時間の経つのも忘れて、意見交換や議論が活発に行われ、有意義な交流会となりました。

以下、議案書の抜粋をご覧ください。

■２００６年度活動実績

１月９日　パキスタン北部地震復興支援募金（大宰府駅前）27,931 円が集まる
１月 17 日　運営委員会
２月５日　定例会（総会）
３月９日　ニュースレター17 号発送
４月 27 日　定例会
５月 25 日　運営委員会
６月 15 日　定例会（東アジアの経済について）
７月６日　ニュースレター18 号発送
８月 17 日　定例会　プロジェクト報告　後藤真子さん、ロゥニーさん
９月 14 日～16 日　地球市民どんたく 2006
９月 21 日　運営委員会
10 月２日　世界ハビタットデー2006　福岡記念国際シンポジウム
10 月 10 日　ニュースレター19 号発送
11 月 15 日　運営委員会　プロジェクト報告　バラットさん

■2006 年度会計報告（単位：円）

収入の部	前期繰越	160, 282
	会費	
	支援金	13, 000
	市民どんたく戻金	10, 000
	受け取り利息	2
	収入合計	229, 284
支出の部	ニュースレター印刷	37, 620
	FUKU-NET 会費	3, 000
	市民どんたく出展代	14, 000
	振り替え手数料	1, 020
	事務用品 ･切手	15, 540
	次年度繰越	158, 104
	支出合計	229, 284

■2007 年度計画

２月 22 日　定例会
３月８日　総会＆交流会
４月 19 日　ニュースレター20 号発送
５月 16 日　定例会
６月（未定）ワークショップ
７月 19 日　定例会
８月 16 日　定例会（勉強会）
９月 13 日～17 日　地球市民どんたく 2007
10 月１日　世界ハビタットデー
11 月 15 日　定例会
12 月 20 日　交流会

■2007 年度新役員体制

代　　表	牟田　慎一郎
副 代 表	佐竹　芳郎（新任）
事務局長	諸藤　恵子（新任）
会　　計	山前　隆
監　　事	島　祐二郎
運営委員	若干名

■新役員からのメッセージ

副代表　佐竹芳郎さん

３月の総会で副代表に選出された佐竹芳郎です。牟田慎一郎代表の補佐役をしながら､「ハビタット福岡市民の会」の活動活性化のお手伝いができるように頑張りたいと思っています。

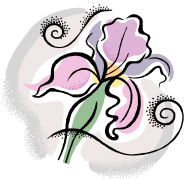
そして国連ハビタット福岡事務所をサポートする活動を自主的に着実に行いたいと思っています。

事務局長　諸藤恵子さん

事務局長に就任させていただくことになりました諸藤です。私にとって、市民の会の活動は、ボランティアとしてお手伝いするという意識ではなく、常に何かを学ばせていただく機会を得る場でした。

１つ１つかけがえのない大切な経験をさせていただきました。琴の音に魅せられている私ですが、そこで感じるのは、江戸時代の古典と呼ばれる曲の中に、春夏秋冬、水のせせらぎ、木の葉の落ちる音など日本の情景が思い浮かぶような音が随所に表現されていることです。街と音楽、そして文化はそこに生きる人々と共にあると思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



■県民シンポジウムが開催される

テーマ“多文化交流拠点ふくおか”

～一緒に創ろうアジアの「ふくおか」～

平成１９年１月１４日にアクロス福岡国際会議場で「県民シンポジウム」が福岡県の主催で開催されました。ハビタット福岡市民の会からは牟田慎一郎代表がパネリストとして参加しました。

坂本和一氏（福岡県アジア人材交流研究会座長）は基調報告で、福岡をアジア国際交流の拠点に、そして外国人をもっと迎へ入れるべきだと話されました。

次に、モンテ・カセム氏（立命館アジア太平洋大学学長）は「アジア太平洋時代の地域国際化」と題して基調講演を行いました。個人、地域、大学も参加して人や地球に優しい持続的な新社会システム作りをすることが今後重要である、国際的な共同研究や協力などを行い win-win になれる国際連携が必要であると主張されました。

パネルディスカッションではコーディネーターを伊東望氏（福岡県国際交流課企画監）、コメンテーターをモンテ・カセム氏が勤め、パネリストとして内田オラパン氏（タイ伝統舞踊家）、サンティアゴ・エレーラ氏（NPO 法人ティエンポ・イベロアメリカーノセンター長）、古森政基氏（アジアビジネスコンサルタント社長）、谷川徹氏（九州大学総長特別補佐）、唐寅氏（福岡アジア都市研究所主任研究員）、ハビタット福岡市民の会代表である牟田慎一郎氏(創造性開発

研究所代表）の６人が参加して「国際交流拠点福岡のあり方」についての活発な議論が行われました。

福岡は生活が便利で、環境もよく、外国人に温かい人が多い所です。それを生かしながら、異文化に興味を持ち相互に理解し合う、日本人と外国人を区別しない社会作りが必要です。福岡の人は来ている外国人を地域の民間大使にするなどもっと活用すべきです。お祭りに外国人も参加する、遊んだり学んだりする交流の場作りをするなどの活発な提言が出ました。有意義なシンポジウムでした。

（佐竹）

■職員紹介（国連ハビタットアジア太平洋事務所）

（資料提供：国連ハビタットアジア太平洋事務所）

バラット・ダヒヤ（Bharat Dahiya）さん

国連ハビタット人間居住アドバイザー

インドの首都デリー出身。1993 年ジャワハラール・ネール大学（インド・ニューデリー）地理学修士号取得、1995 年ディームド大学（インド・ニューデリー）建築・計画学部地域計画学修士号取得後、2001 年英国ケンブリッジ大学都市ガバナンス・協働・都市サービス学博士号取得。その後、2002 年から 2006 年６月まで４年あまりワシントン DC の世界銀行で都市開発専門家として勤務。その間、さまざまな国で事業を展開する一方で、世界銀行から都市環境開発に関する著書“Urban Environment and Infrastructure：Towards Livable Cities”を出版する（共著）と共に中国、インド、モンゴル、イエメンにおける都市開発と環境プロジェクトに従事。

2006 年７月より国連ハビタット・アジア太平洋事務所（福岡）にて、モンゴル、ネパール、ベトナムのスラム改善・都市・地域開発戦略における技術支援・事業企画およびデザイン・資金調達をはじめ適切な都市ガバナンス、知的マネジメント、ハビタットの出版物（State of Asian Cities Report）、世界都市フォーラムⅣ（2008 年南京で開催予定）を担当。

趣味は、写真、旅行、異文化理解などである。

「ゲル地域の改善戦略と投資計画プロジェクト」

（モンゴル・ウランバートル）

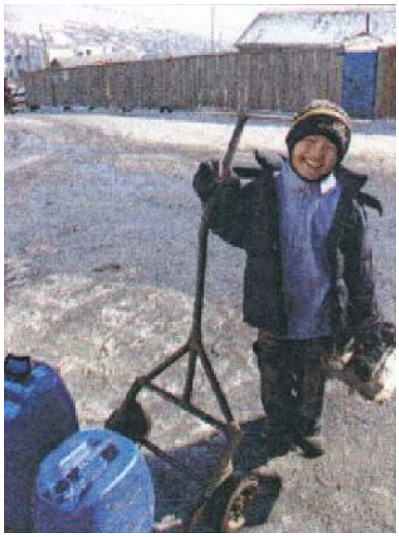
国連ハビタットは、都市同盟と「ゲル地域の改善戦略と投資計画プロジェクト」における資金援助の同意書に署名し、現在、同事業は、ウランバートル市で実施されている。

事業の目的は、系統だった諮問プロセスを通じて、市全体でゲル地域の貧困層を支援する改善戦略と投資計画（以下 GUSIP：Ger-area Upgrading Strategy and Investment Plan for Ulaanbaatar）を作成することである。

パートナーは、公共セクター各機関、行政区（Duureg）と小区域（Kharoo）協議会、各区の住民、民間機関、社会団体、非政府組織（NGO）、市開発の意思決定に携わる教育・研修機関である。

ウランバートル市のゲル地域開発を対象とした国際援助の調整に、これから特に力を注ぐ予定である。さらに、GUSIP 事業では（モンゴルの学会・大学も参加し）、「制度強化戦略」を進め、全国規模での普及に向けて知識の共有と政策の習得におけるメカニズムを構築・実施する。またより広範囲な事業目的として、ウランバートル市が中央計画体制から脱却するのを支援し、現実的な経済状態と開発投資を求める市場からの要求を反映したアプローチへ移行することである。特に、ウランバートル市政府に、貧困層の生活環境を改善する都市経済を実現させることであり、「制限する」ことではなく、「自分たちの役割に対する理解」を促すことが重要である。

（資料提供：国連ハビタットアジア太平洋事務所）



モンゴル：ウランバートル市内のゲル地域で水を汲んでいる子。特に冬は危険な作業である。

■モンゴルハビタット事務所訪問

３月２６日から４月１日まで、アジア太平洋こども会議イン福岡のミッションプロジェクトのモンゴル団団長としてモンゴルを訪れた牟田慎一郎代表は、３月２９日、モンゴルのハビタット事務所を表敬訪問しました。

スフバートル広場と国会議事堂

事務所は、首都ウランバートルの国会議事堂のあるスフバートル広場に隣接したビルの２階にありました。

スタッフの Ms. S. Odbayar（写真中央）と Ms. O. Udval さん（右端）に会って話を聞きました。

☆モンゴルでのハビタットのプロジェクトについては、前頁の囲み記事をご覧ください。

■おしらせ

◆地球市民どんたくの日程が決まりました

国際協力フェスタ「地球市民どんたく 2007」は、９月１３日（木）～１７日（月・祝）の５日間開催されることが決まりました。ハビタット福岡市民の会は、ハビタット協会と共同で、ブースを出展する予定です。

◆会員および運営委員募集

ハビタット福岡市民の会では、九州唯一の国連機関、国連ハビタットアジア太平洋事務所の活動内容を、広く市民の皆さまにお知らせし、より深く理解していただくための活動に協力してくださる会員（総会での議決権を有します）、ならびに会を運営するボランティアスタッフを募集しています。
私たちと一緒に活動しませんか？
皆さまのご参加をお待ちしております。

活動内容

■ニュースレター取材、編集、発送作業
■学習会ならびに出前授業の企画、立案、実施
■ホームページ更新
■各種イベントの企画運営や支援
募金活動、勉強会、セミナー、世界ハビタットデー、地球市民どんたくなど

◆会費納入状況と納入のお願い

■2,007 年度の会費を納入いただいた方は、下記の皆さん方です(敬称略)。ありがとうございました。
佐竹芳郎、馬場菊代、森みち子、新ヶ江一男
MARU の会（代表松藤照子）、伊藤有幸、塩田茂
北村淑、山口明巳、松田美幸、岡島順子、堀哲也
山前隆、牟田慎一郎

■このニュースレターは、皆さん方の会費により発行されています。会費納入による皆様のご支援をよろしくお願いいたします。
年会費　一般 2,000 円　学生 1,000 円
郵便振替口座　０１７３０－０－７８４３４
加入者名　ハビタット福岡市民の会

◆ハビタット福岡市民の会チラシ

Ａ４版の説明用チラシを作成しました。
ハビタット福岡市民の会の説明に活用ください。
下記 Website よりダウンロードできます

編集後記

今年の冬は暖冬となりましたが、４月に入って記録的な寒い日があり、阿蘇山では、28ｃｍの積雪があるなど地球温暖化に起因するであろう異常気象を呈していますね！
ニュースレターは、１９９９年６月２６日に第１号を発行して以来、途中で中断したものの、約８年後の今回、第２０号を数え、記念すべき発行となり感慨深いものがあります。これも市民の会の皆さんおよび国連ハビタットアジア太平洋事務所の皆さんの協力があったからこそだと心から感謝します。

（SM）

事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先は：
〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん　連絡 Box ２号
お問い合わせは：
TEL　090-6770-2481(代表 牟田)
FAX　0942-41-2080
E-mail: cnhf@npgo.jp
URL　http://cnhf.npgo.jp